

北アルプス仙人池と蝶岳

目次

部長あいさつ…………… P2	技士会だより…………… P7
静岡県都市住宅部長 山村善敬	造園施工管理技士受験対策講習会を聞く
「指定管理者制度講習会」に多数の会員参加… P3	南伊豆約行日記…………… P7
支部だより 西部支部・中部支部・東部支部… P4～6	話題の森・お知らせ・編集後記…………… P8
特集「あなたはどちらを選びますか」…………… P6	
モジバフウの巻	



静岡県都市住宅部長

山村 善敬

朝夕の冷え込みに秋の深まりが感じられるようになってまいりました。

社団法人静岡造園緑化協会の皆様には、昨年度の浜名湖花博への御協力をはじめ、日頃の緑化推進への多大な御尽力に対し、厚くお礼申し上げます。

さて、静岡県では、今年六月に浜名湖ガーデンパークを七か所目の県営都市公園として開園いたしました。この浜名湖ガーデンパークは、昨年度「浜名湖花博」が開催された場所であり、この花博の資産を継承しつつ、浜名湖畔の美しい自然と開放感あふれる景観の中に誕生した都市公園です。園内は段差をなくし、勾配を四％以下に抑えたほか、園路の幅も広めに確保するなど、ユニバーサルデザインに配慮しました。モネの庭や水遊び広場の人気スポットもありますので、小さなお子さんからお年寄りまで、だれもが気軽に楽しめる公園であると自負しております。

この公園は、「浜名湖ガーデンパークフレンズ」というボランティアをはじめ、学校や企業など、みんなの力で公園を育てていくというスタイルが特徴であり、園内の植物への水掛けや花がら摘みから、展望塔などの施設案内など、いたるところでボランティアの皆さんが活躍しています。特に、県民参加花壇である「ふれあい花壇」「ユニバーサルガーデン」では、応募していただいた団体や学校、企業の皆さんがオーナーとなり、年間を通じて花壇の管理をしてい

ただいております。

既に開園から五ヶ月が経過しましたが、来園者数は九月末の時点で、四〇万人を超え、おかげさまで開園前に見込んでいた年間来園者数を大きく上回っております。これは、花博効果はもちろんのこと、ボランティアをはじめとする関係者の皆様の御尽力の賜物であると深く感謝しております。九月中旬に実施した来園者アンケートにおいても、「眺めの良い素晴らしい公園」、「ボランティアが素晴らしい」、「ストレス解消のできる憩いの場である」といった好意的な意見が多く、全体的には来園者の皆様から高い評価をいただいております。その一方で、売店やレストランなどの飲食施設の設置や貸し自転車・貸しボートを望む声も聞かれ、より魅力ある公園へと成長させることが求められております。これらの課題は、今後、地元関係者を中心に構成する利用者協議会で検討してまいります。

また、浜名湖ガーデンパークを利用するイベントとしましては、本年度は六月の開園式を始め、開園月間にキャラクターショーや大道芸、スポーツカイト教室などを行ったほか、浜名湖フオークジャンボリー、二十四時間ぶつとしコンサートなどが行われました。来年度は花博の成果を生かした花き振興推進の一環として、浜名湖フラワーフェスタや新品種を展示紹介するジャパンフラワーセレクションなどの開催が予定されております。これ以外にも、さまざまなイベントの誘致を行い、皆さんの発想が実現できる場としていきたいと思っております。これらのイベントに関する情報については、浜名湖ガーデンパークの施設情報と合わせ、ホームページに掲載していくほか、花・緑の情報に関する内容も充実し、情報発信していきます。今後とも、これからも愛され、利用していただけるようなより良い公園を目指して、努力してまいります。思います。

結びに、貴協会が更なる飛躍をされ、会員の皆様方ますますのご発展を祈念いたしまして、私のあいさついたします。

「指定管理者制度講習会」に 多数の会員参加

県造園緑化協会が加入する県建設産業団体連合会（伊藤孝会長）と県建設業協会（岡）共催による「指定管理者制度講習会」が、十月三日、静岡市葵区のべがサートで開催され、県造園緑化協会からも会員の半数近い六十余社が参加した。



指定管理者制度講習会

県に於いて指定管理者制度導入が検討され始めた昨年、一部の役員が「富士山こども園立森林公園」の現地説明会に参加して、理事会では県公園緑地室の山口重則専門監を講師に勉強会も実施してきたが、全会員を対象にとまでは至らなかった。

この制度は市町村有施設に置いて導入されるので全会員に注視するよう促していたところであるが、今回の講習会を全会員に案内したところ、会員の半数近い六十余社から受講申し込みがあった。このため全体でも受講希望者が大幅に増え一六〇〇人に達し、会場も急遽建設業会館からべがサートに変更というおまけまで付いた。

講習会のテーマは「指定管理者と民間企業—指定管理者への対応—」。講師の県総務部市町村行政室の塩津慎一主査は、制度の基本と民間企業が参入する場合の課題などを説明した。管理委託制度が十五年九月に一部改正され、以後、県内では二十市町で、一三施設で導入（十七年六月現在）されている。今後、十八年九月の指定管理者への移行期限までに、指定管理者制度が直営に移行されることから市町での公募が本格化されることが予想される。指定管理者の対象は、団体であれば特段の制限はないため参入しやすい面もあるものの、建設業界の企業が参入しようとする場合、施設の管理、運営面の能力で既存の管理者や大手企業に比べ劣る面もあり、全国的にも公園施設などを除くと、指定事例はまだ少ないのが現状だ。

今回の講習会では、指定管理者の公募内容や選定基準も市町でそれぞれ異なること。応募・指定される団体として地縁団体、NPO法人、第三セクター、専門公益団体のほか、事業系会社、メンテナンス系会社が想定され、それぞれ特性があるなかで、施設規模や委託内容にあった団体を市町が選定することなどの現状が説明された。

県都市住宅部の都市公園は現在、公募者の選定作業中であるが、市町の公園はこれからが多いものと推測される。公園にスポーツ施設もあつてその運営も一諸となると造園専門業者では指定管理者となることは難しく、他業種とJ・Vとを組み合わせる体制を作つてのエントリーすることになる。いずれにしても、市町の情報を的確にキャッチし、地元の公園くらいは造園専門業者が指定管理者になつて欲しい。

草木余話

アカバナトキワマンサク
トキワマンサクの群落が湖西市にあり、県指定の天然記念物となっている。花の色は黄白色で派手ではないが花期の四月五月には花見客でぎわう。

最近では黄白色の基本種よりアカバナトキワマンサクの方が多く使われ、庭園、公園、生垣に利用される。枝が密生し、刈込みに耐え、新芽も紅色をしていることから生垣樹として利用が期待される。トキワではない「マンサク」は、落葉性で浜松市三ヶ日町に群落がある「ます咲く」。「満作」といつて緑柱木。

写真はアカバナトキワマンサクで作つたキリンのトピアリー。園児の人気の的。



支部だより

各支部でそれぞれ独自の活動を展開しているが、秋号は、西部支部から「若年労働者研修」、中部支部が「道路ふれあい月間」の奉仕活動と農業高等学校実習生受入れ、東部支部から「道路ふれあい月間」の奉仕活動の報告がありました。西部支部の研修報告は、夏号に掲載すべきところ、タイミンゲがあわず秋号になってしまいました。

西部支部

平成十七年度若年労働者研修会を終えて：

ナイセイ緑地株式会社 小川潤也

五月二〇日(金)毎年恒例となっております若年労働者研修会が行われ、今年は私が参加させて頂いた。今年度の研修会は、岐阜県可児市で、今年の三月一日から開催されている。「花フェスタ2005ぎふ」の会場敷設と同県美濃加茂市の「日本昭和村」の自由研修でした。

「花フェスタ2005ぎふ」

東名高速道路から豊田東ジャンクションを経て、開通したばかりの東海環状自動車道を進



み、可児・御嵩インターチェンジを降りると、すぐそこには「花フェスタ2005ぎふ」の会場。一〇時三〇分頃、会場入り。

駐車場は結構広がったのですが、観光バスも多く、混み合っていました。

世界のバラ園

世界の多種多様なバラが植栽されている。園路は迷路のようで、優雅な香りが漂います。



会場は、大きく三つのエリアに分けられていました。

ハーブ園や大温室、地上45mの展望塔などがある「葉っぱゾーン」。それから、イベント施設や岐阜県の自治体の出展、ほか様々な展示施設のある「交流ゾーン」。そして、この花フェスタのメインであるバラの展示、園芸文化についての情報が得られる「バラゾーン」。なかでも、バラゾーンの「世界のバラ園」や、浜名湖花博でも人気を誇った、青

いバラ「ブルーヘブン」展示されている花のミニジウムは、大変な賑わいをみせていました。



ちやうど定期的にも花の見ごろで、色とりどりの花壇や、キヤラクターものトビアリーなど面白いものもいくつかありました。トータ



日本昭和村

「花フェスタ2005ぎふ」の会場をあとに、再び東海環状自動車道に入り、一つ目のインター美濃加茂インターチェンジをおりてすぐにある、日本昭和村へ

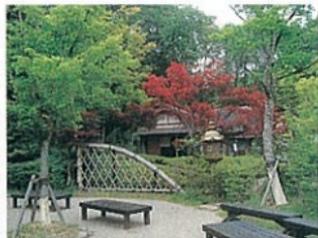
と足を移しました。この日本昭和村、敷地面積が約80haと、かなりの広さに驚きました。森に囲まれ、萱葺き屋根の家や棚田といった現代の世から消えつつある、里山の風景がひろがり、自分の生まれ育った故郷信州の景色と重なり、懐かしく思いました。



私は、今年で三十一歳になるので、これまでの人生のなかで昭和よりも平成の生活のほうが長くなりました。時代は止まることがなく流れ、日々進化し続けていくなかで、生活や、それに限ることなくあらゆる面で、快適かつ便利な世の中になりました。反面、その過程によって失われてきたものもたくさんあると思います。この日本昭和村の風景もそのうちのひとつに数えられると思います。

県造園緑化協会若年研修会に参加して

(有)中村造園 中村 哲



目に青葉

バラ咲き乱れ 花フェスタ

五月二〇日(金)好天の中、県造協若年研修会が約三〇名の参加者で「花フェスタ2005きふ・日本昭和村」の施設見学の内容で行われた。

バスは新緑が目にあまる東名高速・東海環状自動車道を順調に走行し、花フェスタ2005きふの会場に到着した。ウイークデイにしてはマイカーを中心に予想外の駐車台数があり賑わっていた。

我々のような工事関係の職業は、便利なものをつくり、修繕や維持をする仕事です。ときには、立ち木を伐採して造成を図ったり、ときには河川を掘削して改修を図ったりと、自然の中で、自然と一緒に仕事をしています。部分的に考えれば、自然を壊して、人間にとっては快適で便利なものをつくりだしているということになるのか?あまり仕事をしているときには考えないことがですが:

一〇年後、または二〇年後、どのような世の中になっているのかわかりませんが、昔あった風景や、遊び、習慣など、良いものを次世代へ残していくこと、大切なことだと思います。今度は、子供と一緒に遊びに行こうと思います。

う事を知らされる思いがした。

昨年浜名湖で行われた国際花博でも見たが、近年話題の青いバラ「ブルーヘブン」を真近で見られたのも感激だった。このバラは岐阜県で開発、育成された事を知ったのも収穫であった。

日本昭和村は、昭和三〇年代の里山風景を中心に、自然体験を主眼にした施設として建設されたものだそうである。自然の丘陵の中に、人工的に造成され、植樹された林と昭和時代の農山村の建築物が点在し、その全体像は年配の者にとっては何となく幼少の頃を思い出させる懐かしい風情があった。

なんじやまんじや(ヒトツバタゴの白い花、ウツギの紅の花やサツキが新緑の林を彩っていた。中央を流れる谷川の吊橋から眺める石組みや植込みが絶景であった。

林の中の散策道路を歩きながら、昭和中期のみやげ物を物色したり昔懐かしい紙芝居の名調子を聴いたり、心安らぐ時間であった。

今回の若年研修会は、以上の



肩に腕をふるう会員

八月は「道路ふれあい月間」。その一環として、道の日に当たる十日、国土交通省静岡国道事務所主催による道路美化の清掃活動が展開された。

(社)静岡県造園緑化協会も呼応して参加したが、当日は、(社)静岡県建設業協会、(社)静岡県土木施工管理技士会、(社)静岡県土木トラフ協会などの会員が参加した。

清掃活動は、国道一号線の静岡駅前「しずマチ」、道の駅「宇津ノ谷峠」、清水区興津東町地

中部支部

◆道路ふれあい月間に道路美化活動に参加

ようにとても有意義なものであった。今後の研修を踏まえて、あえて提言とするならば、

①研修時期としては、公共工事の入札時期を考慮して、もう少し早い時期5月の連休を挟んで4月下旬か連休明け近くの方が参加者も多く見込めるのではないだろうか。

②限られた研修時間内ではあるが、少し専門家の解説を聴

くなどの内容を加味したらどうか。今回の研修で考えると、バラ栽培の専門家に依頼して、品種改良の実態やバラ園管理の苦労等を聴く時間が少し取れると良かったかと思う。

最後にこの素晴らしい研修会を企画・運営して頂いた県造協西部支部役員の方々の努力に深く感謝申し上げ、拙い報告レポートとさせていただきます。

元の二号線より休憩所の三ヶ所
で実施された。

協会では、道の駅「宇津ノ谷
峠」に静岡地区会を主体に島
田市、焼津市、藤枝市、吉田町
の会員も加わって総勢十五名で
道の駅「宇津ノ谷峠」の植込み
の追加みに汗を流した。今年は
夏に降雨が少なかったせいか、ハ
チの果がいくつもあつたが幸い
刺された会員はいなかった。

同日、同時刻に清水区興津東
町、国道二号上り線路側でも清
掃作業が行われ、こちらには清
庵地区会員七名が参加して植
込みの刈込みを行い、道路美化
清掃活動の一翼を担った。

◆造園実習に汗

例年受け入れられている静岡農業
高等学校生徒の実習は、生徒た
ちにとっては夏休みも終盤の八
月二十九日から四日間、中部支
部会員十七社に分散して行った。

最終日の九月一日には、実習
の仕上げとして、全員が会社の人
に引率されて静岡市駿河区の
登呂のポリテクセンター静岡に
集合して、支部会員四十五人の
指導を受けて草刈り、株物の刈
り込み、高木の剪定、道具の使

い方の指導を受けた。

ポリテクセンターでの実習は
初めてで、かなり流れていた所
もあつたが一日の実習でできい
さつぱりとなり、来年も実習会
場に使つてと要望がでるほどで
あつた。

桜井支部長は「高校生が将来
の進路を考える際の参考になれ
ば、業者にとつても、高校生の方
用を検討するきっかけになる。
また、公益法人の会員として社
会にも貢献することにもなる」と
実習受け入れの狙いを話した。

東部支部

◆道路ふれあい月間・道路美化清掃に 東部支部も参加



刈込みはお手のもの

同じ国土交通省静岡国道事
務所主催の道路美化清掃が八
月二十四日、富士市五貫島「道
の駅」富士で行われた。

当日は厳しい残暑のなか小林
召「東部支部長をはじめ、富士、
富士宮地区会員十四名が参加
して、上り線、下り線の植込み
を美しく刈り上げた。主催者や
売店の経営者から感謝され喜
さの中、しばし涼感を味わった。



それぞれの持ち場で実習に動く高校生

特集

“あなたはどちらの管理を
選びますか。”

この写真はアメリカ原産のモミジバフウ。
日本のカエデに似ているが、カエデとは緑もゆ
かりもないマンサク科の落葉高木。紅葉が美
しく、樹形も整形で美しいことから街路樹や
公園樹に多く植栽されている。しかし、イラ
ガの被害を受けることが多く、植栽目的に対
応した、あるいは樹木が望んでいる管理が行
われている街路樹はあまり見かけない。

●モミジバフウの巻



アメリカカモミジバフウの紅葉



アメリカカモミジバフウの
自然樹型の並木



同左冬景色

強度の夏季剪定が行われたアメリカモミジバフウは緑陰効果はゼロに等しい



技術士会だより 造園施工管理技術士受験対策講習会を開く



真剣に耳を傾ける受講生

八月二十九日と三十日の二日間、静岡市葵区の県産業経済会館で開催した。

受講生は、一級を受験するもの十一人、二級を受験するもの八人であった。講師陣は、望月教彦会長の他、副会長の小林百二、源平太、水野豊の三氏、常任理事の吉岡愛策、川口禎一の二氏が勤め、関係法規から造園管理、設計図書、設計、工事検査、受験要領など、各項目ごとに丁寧な講義を行った。

一級の一次試験発表は十月二〇日、二級は十二月九日、全員の合格を祈ります。

技術士会では毎年、「造園施工管理技術検定試験」が実施される一ヶ月前に受験対策講習会を開催している。造園建設業だけではないのだが公共工事が大幅に減少するに伴って受講希望者も減少し、十名を下回ったらこの事前講習も中止せざるを得ないということとで決定した。

ところが、本年は今年までの減少傾向に歯止めがかかって十九人の受講希望者があり、



講師を務める望月会長

南伊豆釣行日記

技術士会長 望月 教彦

①平成十七年四月二十日 今年初めての釣行です。

伊豆下田の手は港より早朝四時マラツエジロの舟に釣りに乗せて時速八十キロのスPEEDで、下田沖〇〇キロに浮き島辺りまで伊豆半島一の釣り場である神子島に一直線に海の土を走る様に到着しました。一足おくれで下田港より神子丸も、二人の釣り人として到着。灯台や官舎のあるこの島は一年中釣り人が絶えません。釣果は、四上セシチ前後のメジナ一匹、外道にイサキ、平ソウダガツオ、キログラフ位です。午後一時には帰港しました。

②同年、六月十一日、下田の中水港より大根島の磯島の沖半根に入った大根島は全長五〇メートルあり、野瀬があるのよ、馬を置かれていたのを見たりあります。当日も私達の見ている前でエサを置られていました。大きい魚が居るの一人では入らない方がよいと注意は言います。沖半根は〇坪位の小さな島です。二人入れば良い釣り出来る所、なかなか入るチャンスのない島です。釣果は二人でメジナ四〇センチを五匹、外道にイサキ二匹、サバ四〇五〇センチ四匹です。

③同年、六月十六日、下田の中水港よりカツオ島に入りまして、清水、静岡の友人と四人の釣りでした。あれこれと場所を替え、私と息子は「茨本場」という場所に入り、そこで三二五センチ〜四四五センチのメジナを三〇

匹以上釣り上げクルー一匹で大漁でした。外道にイサキ、シマアジ、タカベ等が釣れました。帰港は午後一時でした。

④同年、七月三日下田の中水港よりカツオ島に入りました。

前回、良い思い出だったのでもう一度と同じ場所に入り、前回より大物のメジナ四十五センチを十五匹以上の釣果がありました。中水の最も沖に釣果があり、船が走ると、落差があるカツオ島は、船が走ると落差があり海況に注意する事で、外道にイサキ等、魚影の濃い島です。

⑤同年、七月三十一日下田の中水より沖半根に入ります。

気温三十五度以上の猛暑の中、島も暑く、着いた高瀬で頭から顔から体から汗が流れ、全身水浴びした様な状態でした。ボートも水一人入ったら四リマトルではとても水臭い味で船に連絡をし、また待つてまた待つてまた待つてした。釣果はサバの大群に見まわられてしまい四人で二〇匹以上でした。外道も二匹、サバです。釣ったサバは全部放流しました。帰港は午後一時でした。夏の島は暑く体力に自信のない人は釣行しない方がよいと思います。

今年に入り七月までに、計五回の伊豆の釣行でしたが、感想を申し上げます。また釣りのマナーの悪化が目立ちました。釣りの心の悪化、又釣り人などのではどうする事も出来ない程の海の汚染、そして取り返しのつかない程の海岸線の自然破壊、海岸、磯島などには免れずメジナ、シロの山、舟箱、ビニール、空き缶、エサのクレーン等海をゴミ箱代りにして捨てる寸品々は数知れない。現在全世界で環境問題が最優先されているにも関わらず伊豆はそんな状況ではない。こんな悪循環は断ち切らなくてはならない。なると思います。

我々の住んでいる島は海の恵み無しでは生きていけないのではないのでしょうか。海は様々な力を蓄積しています。かつて東洋工業船が密漁により増減した時は東京湾には魚が釣れない、いわれられていたが、見ると見ると海は澄み、驚くほどの勢いで魚が戻ってきました。また三菱石油水局製油所が大量が重油流出事故で四五年は海は光に覆らない、といわれていました。数ヶ月で海は立ち直り一年後にはほとんど影響が見られなくなると聞いておりました。この海の自浄力に頼り相変わらず海を汚し続けているのが現状です。海の汚染を絶え、人間に与えてくれる恩恵は計り知れないが、絶えたい限り必ず感ずるべき結果を突きつけてくると思います。伊豆の海は日本でも有数の魚類の宝庫で自然の変化に富み釣りにては外洋の釣り、内海の釣りの「距離」をうちまわす。ほんのわずかの沖合、でもカシキマヤガツオが釣れる。今海は日本全国にまわがらないと思います。そんな伊豆の海を水産の財産として持ち続けるが作品になります。伊豆の海に穏やかで寛良な心がうつりてきている事を忘れてはなりません。

話題の森

浜名湖ガーデンパーク人気

早くも入場42万人に

浜名湖花博が終わって早や一年。南北水路の東側は再整備し、都市公園・浜名湖ガーデンパークの名称で一般開放され、速日にざわている。花博閉幕後は入園者の回復が期待されていた「はままつラフラーパーク」は、その影響をまともに受けて、入園者が回復することなく苦況に立たされているという。両者の特徴を異なるたもの

にし、共存して欲しい。
この浜名湖ガーデンパークで来年四月二十九日から「浜名湖フラワーフェスタ」が開催される。造園芸業の祭典であり、会員の参画、出展が期待されている。何となくも全国規模で初めての花卉新品種コンテスト「ジャパンフラワーセレクション」も開催される。新品種の見本取引市場となり全国からの入場も期待されている。

浜名湖花博跡地に開園した浜名湖ガーデンパーク（浜松市村楠町）の入場者数が約四十三万人に上り、オープン後四カ月で早くも年間目標二十二万人を大きく上回ったことが分かった。愛知県で開かれていた愛・地球博（愛知万博）が閉鎖されたため旅行会社が観光ツアーの立ち寄り先に選ぶケースもあり、同園は「イベントを企画し、さらに集客に努めたい」と意気込んでいる。

（志方一雄）



開園4カ月で年間目標の倍近くの入場者が訪れた浜名湖ガーデンパーク＝浜松市で

開園4カ月 年間目標上回る

10月の同園の主なイベントは次の通り。
▽8日 モネの庭オカリナ演奏会▽9日 浜名湖フオークジャンポリー（地元アマチュアバンドが出演）▽15日 モネの庭トロンボーン四重奏会▽22、23日 ラジコンカレース▽29日 モネの庭オカリナ演奏会▽30日 市勤労者共済会主催のフェスタ

六月五日に開園した同園は、「モネの庭」などを自当てにオープン直後の六月に十五万六千人が入場。七、八月は水遊び広場が家族連れでにぎわい、九月はサリヒアやキクなどの花が人気を集め、毎月九万人弱が来場。九月末現在の入場者は四十二万七千人に上った。うち六万八千人が有料の展望塔を利用した。同園の倉島克実所長は一部施設を除き入園無料の意に触れ、「気軽に楽しめることが評判されている。花や緑の持つ力はすごい」と分析。今後については「館山温泉や春華堂など周辺の観光施設と連携し、旅行会社への売り込みも強めたい」と話している。

05年10月5日 中日新聞

お知らせ

◆新年賀詞交歓会を次に開催します。会員の皆さんには今から予定をお願いします。
開催日 一月十七日（火）
時間 十二時より
場所 ブケ東海館

（JR静岡駅北口）

◆指定管理者制度（P3）参照講習会をお知らせしたところ多数の会員の受講がありました。これからの市町の指定管理者制度の動きに注視してください。
このような講習会、講演会は協会主催、他団体開催にかかわらず広くPRし、受講を促しております。

会員の皆さんからこんな講習会、講演会を開催して欲しいという具体的な要望をお待ちしております。
◆日本道路公園、民間化で入札制度更新
十月七日の建通新聞で報道されたように入札制度が変更になりました。全会員にFAXで通知しましたが、今までのように待たせていても指名通知は来ません。積極的にホームページ（<http://www.crc.or.jp>）へアクセスして下さい。

編集後記

秋号はついでに原稿が届きませんでした。ここにも業界の状況が反映しているように思われます。次号は一ヶ月後に新年号です。こういう時こそ声を大にして下さい。投稿をお待ちしております。